

## ヒトとモノの流れを拡大し地方の活性化を目指す

自由民主党幹事長 二階 俊博

自由民主党に対しまして、日頃から大変なご支援をいただいております。全国町村会の皆様のお力が最も大きなお力として、我々を支えていただいております。

本年7月の参議院選挙では、与党で目標を上回る70議席を頂戴することが出来ました。これはひとえに私共を一貫してお支えいただいている町村長の皆様のご支援の賜物であり、党を代表してここに改めて厚く御礼を申し上げます。

政治の原点は地方にあることは言うまでもありません。あの苦しい野党の時代、私は今でも党本部で機会あるごとに「あの野党の時代を思い起こそうではないか」と述べています。野党の時代には、人は訪ねて来て下さらないのです。「ようし今に見ておれ」という状況であったわけです。これは、自民党が選挙に負けたからです。我々はそのことを、いつの時も噛み締めておかななくてはなりません。

私共の政治の原点は、地方にあることは言うまでもありません。あの野党の時代を乗り越えて、今日の安倍内閣が安定した政策を進めることが出来るのも、皆様のお陰であります。従ってその論からすれば、町村長の皆様のご要望、ご要請を一番先に聞き届けて実行に移さなくてはならない訳であります。

安倍内閣の最重要課題である地方創生では、皆さんに主役となっていただき、魅力あるまちづくりにご尽力いただいております。私は、先般の衆議院本会議の代表質問におきましても、地方創生について、国土の均衡ある発展の観点から、政府にしっかりと取り組むよう強く申し上げたところであります。

大都市と地方、地方と地方を結ぶ「ヒト」や「モノ」の流れを拡大し、地方が活性化し、新たに創出するインフラの整備等は政治にとって最も大事な仕事であり、経済効果はとてつもなく大きなものとなります。ここにおられる町村長の皆様のお力を最大限お借りして、共に頑張っていきたいと思うものであります。

昨今、我が国において、地震や台風など大規模な自然災害が頻発しております。過疎化や少子高齢化が進む町村が、こうした大災害によって、更に大きく損なわれることのないように、あらゆる自然災害から、私たちのふるさとを守るための国土強靱化についても、今後も一層力を入れて取り組んでまいります。私共は今朝ほど、自民党の本部前に徳島県の皆様をお招きして、地方の産品を販売するという大会をやりました。徳島県の知事をはじめ、皆さんが頑張っていて、阿波踊りも披露していただくなど、党本部前は一瞬、徳島県へと変わった様な状況でありました。

地域の皆様が東京に出てきて、必ずしも東京でなくても良いのですが、地方

の産品や農家の皆様や、漁家の皆様が一生懸命頑張っておられた産物を販売する、そして一人でも多くの方に地域の産物の良さを感じていただく。ありがたいことに今日の徳島の産物は、大体完売させていただきました。この催しは、すでに10回位やっているのですが、いつも完売であります。それはやはり、売る方の気合いも大事です。

それぞれの町村には、いろいろな産物があり、仕事の成果があがっておられると思います。そういった、町村の産物や成果を各都道府県町村会長さんのもとで整理していただいて、積極的に販売、発信していただければと思います。

その中には必ず地方発展のヒントが隠れているはずで、そういうものもお互いにどんどん進めて、口だけで言う地方創生ではなくて、本気でやるということをお互いに示していこうではありませんか。

このことをお伝えするとともに、自由民主党は皆さんのお陰で政権を担当させていただいている訳ですから、その重みを十分噛み締めて、期待に応えられるように頑張らなくてはならないと思っております。

どうか町村長の皆さん、日頃のご支援に心から感謝を申し上げ、改めて皆さんと手をつないで、これからの日本の政治を誤りなきよう努めて参りたいと思っております。お力添えを心からお願いし、皆様方のご健勝とご発展をご祈念申し上げます、ご挨拶といたします。